



## APPENDIX **B**

# Cisco CGS 2520 の Show Platform コマンド

---

この付録では、Cisco CGS 2520 スイッチで使用するために作成または変更された **show platform** 特権 EXEC コマンドについて説明します。これらのコマンドは、インターネットワーキングの問題の診断および解決に役立つ情報を表示します。使用する場合には、必ずシスコのテクニカル サポート担当者の指示に従ってください。

# show platform acl

プラットフォームに依存する Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) マネージャ情報を表示するには、**show platform acl** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform acl {interface interface-id | label label-number [detail] | statistics
  asic-number | usage asic-number [summary] | vlan vlan-id} [| {begin | exclude |
  include} expression]
```

## 構文の説明

<b>interface</b> <i>interface-id</i>	指定されたインターフェイスについて、インターフェイス単位の ACL マネージャ情報を表示します。このインターフェイスには物理インターフェイスまたは VLAN を指定できます。
<b>label</b> <i>label-number</i> [ <b>detail</b> ]	ラベル単位の ACL マネージャ情報を表示します。 <i>label-number</i> に指定できる範囲は 0 ~ 255 です。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>detail</b> : (任意) ACL マネージャ ラベル情報の詳細を表示します。</li> </ul>
<b>statistics</b> <i>asic-number</i>	ASIC 単位の ACL 統計情報を表示します。 <i>asic-number</i> は、常に 0 のポート ASIC 番号です。
<b>usage</b> <i>asic-number</i> [ <b>summary</b> ]	ASIC 単位の ACL 使用状況を表示します。 <i>asic-number</i> は、常に 0 のポート ASIC 番号です。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>summary</b> : (任意) 簡単な使用状況情報を表示します。</li> </ul>
<b>vlan</b> <i>vlan-id</i>	VLAN 単位の ACL マネージャ情報を表示します。 <i>vlan-id</i> に指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform backup interface

Flex Link 設定で使用されるプラットフォーム依存型バックアップ情報を表示するには、**show platform backup interface** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform backup interface [interface-id | dummyQ] [| {begin | exclude | include}
expression]
```

## 構文の説明

<i>interface-id</i>	(任意) すべてのインターフェイスまたは指定されたインターフェイスに対するバックアップ情報を表示します。このインターフェイスには物理インターフェイスまたはポート チャンネルを指定できます。
<b>dummyQ</b>	(任意) ダミー キュー情報を表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform cfm

プラットフォームに依存するイーサネット接続障害管理（CFM）情報を表示するために **show platform cfm** 特権 EXEC コマンドを使用します。CFM は、エンドツーエンドのサービス インスタンス単位のイーサネット レイヤ Operation, Administration, and Management（OAM）プロトコルで、大規模イーサネット ネットワークに事前接続モニタリング、障害検証、および障害隔離を提供します。

```
show platform cfm [ | {begin | exclude | include} expression]
```

---

## 構文の説明

**コマンド モード** 特権 EXEC

---

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

---

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform configuration

プラットフォームに依存するコンフィギュレーション マネージャ 関連情報を表示するには、**show platform configuration** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform configuration {config-output | default | running | startup} [| {begin |
exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>config-output</b>	最後の自動設定アプリケーションの出力を表示します。
<b>default</b>	システムがデフォルト設定を実行しているかどうかを表示します。
<b>running</b>	ローカル スイッチのバックアップ実行コンフィギュレーションのスナップショットを表示します。
<b>startup</b>	ローカル スイッチのバックアップ スタートアップ コンフィギュレーションのスナップショットを表示します。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンド モード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform dl

動的にロードされるモジュールの情報を表示するには、**show platform dl** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform dl [detail] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>detail</b>	(任意) 動的にロードされるモジュールの詳細情報を表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform etherchannel

プラットフォームに依存する EtherChannel 情報を表示するには、**show platform etherchannel** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform etherchannel {flags | time-stamps} [| {begin | exclude | include}
expression]
```

## 構文の説明

<b>flags</b>	EtherChannel ポート フラグを表示します。
<b>time-stamps</b>	EtherChannel タイム スタンプを表示します。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform forward

ハードウェアが指定されたパラメータと一致するフレームを転送する方法を指定するには、インターフェイスの **show platform forward** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform forward interface-id [vlan vlan-id] src-mac dst-mac [l3protocol-id] [sap |
snap] [cos cos] [ip src-ip dst-ip [frag field] [dscp dscp] {l4protocol-id | icmp icmp-type
icmp-code | igmp igmp-version igmp-type | tcp src-port dst-port flags | udp src-port
dst-port} [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<i>interface-id</i>	パケットがスイッチに着信するポートとなる入力物理インターフェイス (タイプ、ポート番号を含む)。
<b>vlan</b> <i>vlan-id</i>	(任意) 入力 VLAN ID。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。この値が指定されず、入力インターフェイスがルーテッドポートでない場合、デフォルトは 1 です。
<i>src-mac</i>	48 ビット送信元 MAC アドレス。
<i>dst-mac</i>	48 ビット宛先 MAC アドレス。
<i>l3protocol-id</i>	(任意) パケットで使用されるレイヤ 3 プロトコル。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<b>sap</b>	(任意) Service Access Point (SAP; サービス アクセス ポイント) カプセル化タイプ
<b>snap</b>	(任意) Subnetwork Access Protocol (SNAP; サブネットワーク アクセス プロトコル) カプセル化タイプ
<b>cos</b> <i>cos</i>	(任意) フレームの Class of Service (CoS; サービス クラス) 値。指定できる範囲は 0 ~ 7 です。
<b>ip</b> <i>src-ip dst-ip</i>	(任意、ただし IP パケットの場合は必須) ドット付き 10 進表記の送信元および宛先 IP アドレス。
<b>frag</b> <i>field</i>	(任意) フラグメント IP パケットの IP フラグメント フィールド。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<b>dscp</b> <i>dscp</i>	(任意) IP ヘッダーの Differentiated Service Code Point (DSCP; DiffServ コード ポイント) フィールド。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。
<i>l4protocol-id</i>	IP ヘッダーのレイヤ 4 プロトコル フィールドの数値。指定できる範囲は 0 ~ 255 です。たとえば、47 は Generic Routing Encapsulation (GRE; 総称ルーティング カプセル化) であり、89 は Open Shortest Path First (OSPF) です。プロトコルが TCP、UDP、ICMP、または IGMP の場合、数値の代わりに適切なキーワードを使用する必要があります。
<b>icmp</b> <i>icmp-type icmp-code</i>	インターネット制御メッセージプロトコル (ICMP) パラメータ。 <i>icmp-type</i> および <i>icmp-code</i> に指定できる範囲は 0 ~ 255 です。
<b>igmp</b> <i>igmp-version igmp-type</i>	Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ管理プロトコル) のパラメータ。指定できる範囲は、 <i>igmp-version</i> は 1 ~ 15、 <i>igmp-type</i> は 0 ~ 15 です。
<b>tcp</b> <i>src-port dst-port flags</i>	TCP パラメータ : TCP 送信元ポート、宛先ポート、ヘッダーの TCP フラグ バイトの数値。 <i>src-port</i> および <i>dst-port</i> に指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。指定できるフラグ範囲は 0 ~ 1024 です。



<b>udp</b> <i>src-port dst-port</i>	User Datagram Protocol (UDP; ユーザ データグラム プロトコル) のパラメータ。 <i>src-port</i> および <i>dst-port</i> に指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。



(注)

**ipv6** キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されますが、サポートされていません。

### コマンドモード

特権 EXEC

### コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

### 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

### 例

**show platform forward** のコマンド出力の表示の例およびその意味については、このリリースに対応するソフトウェア コンフィギュレーション ガイドの「Troubleshooting」の章を参照してください。

# show platform frontend-controller

フロントエンドコントローラ マネージャとその従属アプリケーションのカウンタおよびステータス情報、およびフロントエンドコントローラのハードウェアおよびソフトウェア情報を表示するには、**show platform frontend-controller** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform frontend-controller {buffer | generic | manager number | subordinate
number | version number} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>buffer</b>	マネージャから従属アプリケーションに送信された最後の 1024 バイトを表示します。または、従属アプリケーションからマネージャに送信された最後の 1024 バイトを表示します。
<b>generic</b>	マネージャまたは従属アプリケーションに限定的に適用されるわけではない一般的なカウンタを表示します。
<b>manager number</b>	<i>number</i> で指定されたマネージャおよび従属アプリケーションのカウンタを表示します。 <i>number</i> の範囲については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
<b>subordinate number</b>	<i>number</i> で指定された従属アプリケーションの従属ステータスおよびカウンタを表示します。 <i>number</i> の範囲については、「使用上のガイドライン」を参照してください。
<b>version number</b>	<i>number</i> で指定された従属ステータスのハードウェアおよびソフトウェアバージョン情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform ip igmp snooping

プラットフォームに依存する Internet Group Management Protocol (IGMP; インターネット グループ 管理プロトコル) スヌーピング情報を表示するには、**show platform ip igmp snooping** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip igmp snooping {all | control [di] | counters | flood [vlan vlan-id] | group
ip-address | hardware | retry [count | local [count] | remote [count]]} [| {begin |
exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>all</b>	すべての IGMP スヌーピング プラットフォーム IP マルチキャスト情報を表示します。
<b>control [di]</b>	IGMP スヌーピング コントロール エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>di</b>: (任意) IGMP スヌーピング コントロール宛先インデックス エントリを表示します。</li> </ul>
<b>counters</b>	IGMP スヌーピング カウンタを表示します。
<b>flood [vlan vlan-id]</b>	IGMP スヌーピング フラッディング情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>vlan vlan-id</b>: (任意) 指定された VLAN のフラッディング情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。</li> </ul>
<b>group ip-address</b>	IGMP スヌーピング マルチキャスト グループ情報を表示します。ここで、 <i>ip-address</i> はグループの IP アドレスです。
<b>hardware</b>	ハードウェアにロードされた IGMP スヌーピング情報を表示します。
<b>retry [count   local [count]   remote [count]]</b>	IGMP スヌーピング再試行情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>count</b>: (任意) 再試行回数だけを表示します。</li> <li><b>local</b>: (任意) ローカル再試行エントリを表示します。</li> </ul>
<b>remote [count]</b>	リモート エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>count</b>: (任意) リモート カウントだけを表示します。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン**

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform ip multicast

プラットフォームに依存する IP マルチキャスト テーブルおよび他の情報を表示するには、**show platform ip multicast** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip multicast {acl-full-info | counters | groups | hardware [detail] |
interfaces | locks | mdfs-routes | retry | trace} [| {begin | exclude | include}
expression]
```

## 構文の説明

<b>acl-full-info</b>	IP マルチキャスト ルーティング Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) 情報、特にハードウェアで出力のルータ ACL が適用されない発信 VLAN の数を表示します。
<b>counters</b>	IP マルチキャスト カウンタと統計を表示します。
<b>groups</b>	グループごとの IP マルチキャスト ルータを表示します。
<b>hardware [detail]</b>	ハードウェアにロードされた IP マルチキャスト ルートを表示します。任意の <b>detail</b> キーワードは、宛先インデックスおよびルート インデックスのポート メンバ を表示するために使用します。
<b>interfaces</b>	IP マルチキャスト インターフェイスを表示します。
<b>locks</b>	IP マルチキャスト宛先インデックス ロックを表示します。
<b>mdfs-routes</b>	Multicast Distributed Fast Switching (MDFS) IP マルチキャスト ルートを表示します。
<b>retry</b>	リトライ キューの IP マルチキャスト ルートを表示します。
<b>trace</b>	IP マルチキャスト トレース バッファを表示します。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform ip unicast

プラットフォームに依存する IP ユニキャスト ルーティング情報を表示するには、**show platform ip unicast** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ip unicast {adjacency | cef-idb | counts | dhcp | failed {adjacency | arp
[A.B.C.D] | route} | loadbalance | mpaths | route | standby | statistics | trace} [|
{begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>adjacency</b>	プラットフォーム隣接データベースを表示します。
<b>cef-idb</b>	Cisco Express Forwarding (CEF; シスコ エクスプレス フォワーディング) インターフェイス記述子ブロックに対応するプラットフォーム情報を表示します。
<b>counts</b>	レイヤ 3 ユニキャスト データベースの現在のカウントを表示します。
<b>dhcp</b>	DHCP システム ダイナミック アドレスを表示します。
<b>failed {adjacency   arp [A.B.C.D]   route}</b>	ハードウェア リソース障害を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>adjacency</b> : ハードウェアでのプログラミングに失敗した隣接エントリを表示します。</li> <li>• <b>arp</b> : 障害および再試行による Address Resolution Protocol (ARP; アドレス解決プロトコル) 削除を表示します。</li> <li>• <b>A.B.C.D</b> : (任意) 表示する ARP エントリのプレフィクス。</li> <li>• <b>route</b> : ハードウェアでのプログラミングに失敗したルート エントリを表示します。</li> </ul>
<b>loadbalance</b>	プラットフォーム ロード バランス データベースを表示します。
<b>mpaths</b>	レイヤ 3 ユニキャスト ルーティング マルチパス隣接データベースを表示します。
<b>route</b>	プラットフォーム ルート データベースを表示します。
<b>standby</b>	プラットフォーム スタンバイ情報を表示します。
<b>statistics</b>	レイヤ 3 ユニキャスト ルーティング累積統計を表示します。
<b>trace</b>	プラットフォーム イベント トレース ログを表示します。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。



(注)

**proxy** および **table** キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されますが、サポートされていません。

## コマンドモード

特権 EXEC

---

**コマンド履歴**

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

---

---

**使用上のガイドライン**

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform ipc trace

プラットフォーム依存 Interprocess Communication (IPC; プロセス間通信) プロトコル追跡ログ情報を表示するには、**show platform ipc trace** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ipc trace [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。



# show platform ipv6 unicast

プラットフォームに依存する IPv6 ユニキャスト ルーティング情報を表示するには、**show platform ipv6 unicast** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform ipv6 unicast {adjacency [ipv6-prefix] | backwalk {adjacency |
loadbalance} | compress ipv6-prefix/prefix length | interface | loadbalance | mpath |
retry {adjacency | route} | route [ipv6-prefix/prefix length | tcam] [detail] | statistics |
table [detail] | trace} [| {begin | exclude | include} expression]
```



(注)

このコマンドは、スイッチでメトロ IP アクセス イメージが稼動しており、スイッチにデュアル IPv4/IPv6 Switch Database Management (SDM) テンプレートを設定している場合にだけ使用できます。

## 構文の説明

<b>adjacency</b>	スイッチまたは指定された IPv6 ネットワークの IPv6 隣接情報を表示します。
<i>ipv6-prefix</i>	(任意) 表示する IPv6 ネットワーク。このアドレスは、16 ビット値をコロンで区切った 16 進数で指定する必要があります。
<b>backwalk {adjacency   loadbalance}</b>	IPv6 バックウォーク情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>adjacency</b> : 隣接バックウォーク情報を表示します。</li> <li>• <b>loadbalance</b> : バックウォーク ロードバランス情報を表示します。</li> </ul>
<b>compress</b> <i>ipv6-prefix/prefix length</i>	IPv6 プレフィクス圧縮情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>ipv6-prefix</i> : IPv6 ネットワークです。</li> <li>• <i>/prefix length</i> : IPv6 ネットワーク プレフィクスの長さです。アドレスの上位何ビットがプレフィクス (アドレスのネットワーク部) であるかを示す、0 ~ 128 の 10 進値。スラッシュ記号を 10 進値の前に付ける必要があります。</li> </ul>
<b>interface</b>	IPv6 インターフェイス情報を表示します。
<b>loadbalance</b>	IPv6 ロードバランス情報を表示します。
<b>mpath</b>	IPv6 マルチパス情報を表示します。
<b>retry {adjacency   route}</b>	IPv6 リトライ情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>adjacency</b> : IPv6 隣接リトライ情報を表示します。</li> <li>• <b>route</b> : IPv6 ルート リトライ情報を表示します。</li> </ul>
<b>route</b>	IPv6 ルート情報を表示します。
<b>tcam</b>	(任意) IPv6 ハードウェア ルート テーブル情報を表示します。
<b>detail</b>	(任意) IPv6 ルート情報の詳細を表示します。
<b>statistics</b>	IPv6 累積統計を表示します。
<b>table</b>	IPv6 ユニキャスト テーブル情報を表示します。
<b>trace</b>	IPv6 ユニキャスト トレースを表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## ■ show platform ipv6 unicast

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform l2pt dm

レイヤ 2 プロトコル トンネリング宛先マップおよび関連付けられたポートを表示するには **show platform l2pt dm** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform l2pt dm [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform layer4op

プラットフォームに依存するレイヤ 4 演算子情報を表示するには、**show platform layer4op** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform layer4op {acl | qos [port-asic]} {and-or | map | or-and | vcu} [| {begin |
exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>acl</b>	Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) レイヤ 4 演算子情報を表示します。
<b>qos</b> [port-asic]	Quality of Service (QoS) レイヤ 4 演算子情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>port-asic</i> : (任意) QoS ポート ASIC 番号。値は 0 または 1 を指定できます。</li> </ul>
<b>and-or</b>	AND-OR レジスタ情報を表示します。
<b>map</b>	選択マップ情報を表示します。
<b>or-and</b>	OR-AND レジスタ情報を表示します。
<b>vcu</b>	Value Compare Unit (VCU) レジスタ情報を表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform mac-address-table

プラットフォームに依存する MAC アドレス テーブル情報を表示するには、**show platform mac-address-table** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform mac-address-table [aging-array | hash-table | mac-address mac-address]
[vlan vlan-id] [| {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>aging-array</b>	(任意) MAC アドレス テーブル エージング アレイを表示します。
<b>hash-table</b>	(任意) MAC アドレス テーブル ハッシュ テーブルを表示します。
<b>mac-address mac-address</b>	(任意) MAC アドレス テーブル MAC アドレス情報を表示します。ここで、 <i>mac-address</i> は 48 ビット ハードウェア アドレスです。
<b>vlan vlan-id</b>	(任意) 指定された VLAN の情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b>expression</b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform messaging

プラットフォームに依存するアプリケーションおよびパフォーマンス メッセージ情報を表示するには、**show platform messaging** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform messaging {application [incoming | outgoing | summary] | hipperf
[class-number]} [| {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>application</b> [incoming   outgoing   summary]	アプリケーション メッセージ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>incoming</b> : (任意) 着信アプリケーション メッセージング要求に関する情報だけを表示します。</li> <li>• <b>outgoing</b> : (任意) 発信アプリケーション メッセージング要求に関する情報だけを表示します。</li> <li>• <b>summary</b> : (任意) アプリケーション メッセージング要求すべてに関するサマリー情報を表示します。</li> </ul>
<b>hipperf</b> [class-number]	発信するハイパフォーマンス メッセージ情報を表示します。特定のクラス番号のハイパフォーマンス メッセージについての情報を表示するには、 <i>class-number</i> オプションを指定します。指定できる範囲は 0 ~ 36 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform monitor

プラットフォームに依存する Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチドポートアナライザ) 情報を表示するには、**show platform monitor** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform monitor [session session-number] [| {begin | exclude | include}  
                    expression]
```

## 構文の説明

<b>session</b>	(任意) 指定された SPAN セッションの SPAN 情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 66 です。
<b>session-number</b>	
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform mvr table

プラットフォームに依存する Multicast VLAN Registration (MVR; マルチキャスト VLAN レジストレーション) Multi-Expansion Descriptor (MED) グループ マッピング テーブルを表示するには、**show platform mvr table** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform mvr table [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。



# show platform pm

プラットフォームに依存するポート マネージャ情報を表示するには、**show platform pm** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform pm {counters | group-masks | idbs {active-idbs | deleted-idbs} |
if-numbers | link-status | platform-block | port-info interface-id | vlan {info |
line-state} [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>counters</b>	モジュール カウンタ情報を表示します。
<b>group-masks</b>	EtherChannel グループ マスク情報を表示します。
<b>idbs {active-idbs   deleted-idbs}</b>	Interface Data Block (IDB) 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>active-idbs</b> : アクティブ IDB 情報を表示します。</li> <li><b>deleted-idbs</b> : 削除または漏えいされた IDB 情報を表示します。</li> </ul>
<b>if-numbers</b>	インターフェイス番号情報を表示します。
<b>link-status</b>	ローカル ポート リンク ステータス情報を表示します。
<b>platform-block</b>	プラットフォーム ポート ブロック情報を表示します。
<b>port-info interface-id</b>	指定されたインターフェイスのポート管理フィールドおよび動作フィールドを表示します。
<b>vlan {info   line-state}</b>	プラットフォーム VLAN 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>info</b> : アクティブ VLAN の情報を表示します。</li> <li><b>line-state</b> : ラインステート情報を表示します。</li> </ul>
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。



(注)

**stack-view** キーワードは、コマンドラインのヘルプ ストリングには表示されていますが、サポートされていません。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン**

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform policer cpu

機能ごとの CPU コントロール プレーン ポリサーの統計情報、または指定されたポートのインデックスと対応する機能を表示するには、**show platform policer cpu** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform policer cpu {classification | interface interface-id} [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>classification</b>	機能ごとのポリサー統計情報を表示します。
<b>interface</b> <i>interface-id</i>	特定のインターフェイスのポリサー インデックスを表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

ユーザ ネットワーク インターフェイス (UNI) および拡張ネットワーク インターフェイス (ENI) の CPU 保護のために、スイッチは 0 ~ 26 の番号の付けられた 27 個の CPU 保護ポリサーを事前に割り当てます。ポリサー 26 は、廃棄ポリサーを意味しています。いずれのポートでも、26 として示されるすべてのトラフィック タイプはドロップされます。ポリサー 0 ~ 25 はレート制限ポリサーで、制御プロトコルのポートに割り当てられます。ポリサー 255 は、ポリサーが制御プロトコルに割り当てられないことを意味します。ネットワーク ノード インターフェイス (NNI) にはポリサーが割り当てられていません。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## show platform policer cpu

例 これは **show platform policer cpu classification** コマンドの出力例を示します。

```
Switch# show platform policer cpu classification
=====
SWITCH 1
=====
Feature                               Bytes          Frames
=====
STP                                    3912792        61278
LACP                                    0              0
8021X                                   0              0
RSVD_STP                               0              0
PVST_PLUS                              0              0
CDP                                     1012542        2552
DTP                                     131264         2051
UDLD                                    0              0
PAGP                                    0              0
VTP                                     0              0
CISCO_L2                               0              0
KEEPALIVE                              0              0
CFM                                     0              0
SWITCH_MAC                             0              0
SWITCH_ROUTER_MAC                      896            14
SWITCH_IGMP                             289408         4522
SWITCH_L2PT                             0              0
```

次の **show platform policer cpu interface** コマンドの出力例は、UNI のデフォルトのポリサーの設定を示します。ポートがファストイーサネット 1 であるため、レート制限されるプロトコルの ID は 0 で、ファストイーサネット ポート 5 には、ID 4 が表示されます。*Policer Index* は、特定のプロトコルを意味します。ASIC 番号は、ポリサーが異なる ASIC 上にある場合を表します。

UNI では、STP、CDP、LLDP、LACP、および PAGP がサポートされていないので、これらのパケットは破棄されます（物理ポリサー 26）。ENI でもこれらのプロトコルはデフォルトでディセーブルになっていますが、イネーブルにすることが可能です。ENI 上でイネーブルにすると、制御パケットがレート制限され、レート制限ポリサーが、これらのプロトコルのポートに割り当てられます（物理ポリサー 22）。

```
Switch# show platform policer cpu interface fastethernet 0/3
Policers assigned for CPU protection
=====
Feature                               Policer        Physical      Asic
Index                                Index          Policer       Num
=====
Fa0/1
STP                                    1              26            0
LACP                                    2              26            0
8021X                                   3              26            0
RSVD_STP                               4              26            0
PVST_PLUS                              5              26            0
CDP                                     6              26            0
LLDP                                    7              26            0
DTP                                     8              26            0
UDLD                                    9              26            0
PAGP                                    10             26            0
VTP                                     11             26            0
CISCO_L2                               12             26            0
KEEPALIVE                              13             0             0
CFM                                     14             255           0
SWITCH_MAC                             15             26            0
SWITCH_ROUTER_MAC                      16             26            0
SWITCH_IGMP                             17             0             0
SWITCH_L2PT                             18             26            0
```

次に、制御プロトコルがインターフェイス上でイネーブルになったときに ENI に割り当てられるポリサーの例を示します。値 22 は、プロトコル パケットが、そのプロトコルに関してレート制限されていることを示しています。プロトコルがイネーブルになっていない場合、デフォルトは UNI の場合と同じです。

```
Switch# show platform policer cpu interface fastethernet0/23
Policers assigned for CPU protection
```

```
=====
```

Feature	Policer Index	Physical Policer	Asic Num
=====			
Fa0/23			
STP	1	26	0
LACP	2	22	0
8021X	3	26	0
RSVD_STP	4	26	0
PVST_PLUS	5	26	0
CDP	6	22	0
LLDP	7	26	0
DTP	8	26	0
UDLD	9	26	0
PAGP	10	26	0
VTP	11	26	0
CISCO_L2	12	22	0
KEEPALIVE	13	22	0
CFM	14	255	0
SWITCH_MAC	15	26	0
SWITCH_ROUTER_MAC	16	26	0
SWITCH_IGMP	17	22	0
SWITCH_L2PT	18	22	0

```
=====
```

次に、NNI に割り当てられるデフォルト ポリサーを示します。ほとんどのプロトコルでは、NNI にポリサーが割り当てられません。値 255 は、プロトコルのポートにポリサーが割り当てられないことを意味します。

```
Switch #show platform policer cpu interface gigabitethernet 0/1
Policers assigned for CPU protection
```

```
=====
```

Feature	Policer Index	Physical Policer	Asic Num
=====			
Gi0/1			
STP	1	255	0
LACP	2	255	0
8021X	3	255	0
RSVD_STP	4	255	0
PVST_PLUS	5	255	0
CDP	6	255	0
LLDP	7	255	0
DTP	8	255	0
UDLD	9	255	0
PAGP	10	255	0
VTP	11	255	0
CISCO_L2	12	255	0
KEEPALIVE	13	255	0
CFM	14	255	0
SWITCH_MAC	15	255	0
SWITCH_ROUTER_MAC	16	255	0
SWITCH_IGMP	17	255	0
SWITCH_L2PT	18	255	0

```
=====
```

## ■ show platform policer cpu

## 関連コマンド

コマンド	説明
<a href="#">show policer cpu uni-eni</a>	スイッチのコントロールプレーン ポリサー情報を表示します。

# show platform port-asic

プラットフォーム依存型ポート Application-Specific Integrated Circuit (ASIC; 特定用途向け集積回路) レジスタ情報を表示するには、**show platform port-asic** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform port-asic {cpu-queue-map-table [asic number | port number [asic
number]] |
dest-map index number | etherchannel-info [asic number | port number [asic number]]
| exception [asic number | port number [asic number]] | global-status [asic number |
port number [asic number]] | learning [asic number | port number [asic number]] |
mac-info [asic number | port number [asic number]] | mvid [asic number] |
packet-info-ram [asic number | index number [asic number]] |
port-info [asic number | port number [asic number]] |
prog-parser [asic number | port number [asic number]] |
receive {buffer-queue | port-fifo | supervisor-sram} [asic number | port number [asic
number]] | span [vlan-id [asic number] | [asic number]]
stats {drop | enqueue | miscellaneous | supervisor} [asic number | port number [asic
number]] |
transmit {port-fifo | queue | supervisor-sram} [asic number | port number [asic
number]]
vct [asic number | port number [asic number]]}
[ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>cpu-queue-map-table</b> [asic number   port number [asic number]]	CPU キュー マップ テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。</li> </ul>
<b>dest-map index number</b>	指定されたインデックスの宛先マップ情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。
<b>etherchannel-info</b> [asic number   port number [asic number]]	EtherChannel 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>exception</b> [asic number   port number [asic number]]	例外インデックス レジスタ情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>

<b>global-status</b> [ <i>asic number</i>   <b>port number</b> [ <i>asic number</i> ]]	グローバルおよび中断ステータスを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>learning</b> [ <i>asic number</i>   <b>port number</b> [ <i>asic number</i> ]]	学習キャッシュ内のエントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>mac-info</b> [ <i>asic number</i>   <b>port number</b> [ <i>asic number</i> ]]	MAC 情報レジスタの内容を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>mvid</b> [ <i>asic number</i> ]	マッピングされた VLAN ID テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> </ul>
<b>packet-info-ram</b> [ <i>asic number</i>   <b>index number</b> [ <i>asic number</i> ]]	パケット情報 RAM を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> <li>• <b>index number</b> : (任意) 指定されたパケット RAM インデックス番号および ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 63 です。</li> </ul>
<b>port-info</b> [ <i>asic number</i>   <b>port number</b> [ <i>asic number</i> ]]	ポート情報レジスタ値を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>prog-parser</b> [ <i>asic number</i>   <b>port number</b> [ <i>asic number</i> ]]	プログラマブル パarser テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>



<b>receive</b> { <b>buffer-queue</b>   <b>port-fifo</b>   <b>supervisor-sram</b> } [ <b>asic number</b>   <b>port number</b> [ <b>asic number</b> ]]	<p>受信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>buffer-queue</b> : バッファ キュー情報を表示します。</li> <li>• <b>port-fifo</b> : ポート FIFO 情報を表示します。</li> <li>• <b>supervisor-sram</b> : スーパーバイザ Static RAM (SRAM) 情報を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>span</b> [ <b>vlan-id</b>   <b>asic number</b> ]	<p>Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチド ポート アナライザ) 関連情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>vlan-id</b> : (任意) 指定された VLAN の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1023 です。</li> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> </ul>
<b>stats</b> { <b>drop</b>   <b>enqueue</b>   <b>miscellaneous</b>   <b>supervisor</b> } [ <b>asic number</b>   <b>port number</b> [ <b>asic number</b> ]]	<p>ポート ASIC の未処理の統計を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>drop</b> : ドロップ統計情報を表示します。</li> <li>• <b>enqueue</b> : エンキュー統計情報を表示します。</li> <li>• <b>miscellaneous</b> : 各種統計情報を表示します。</li> <li>• <b>supervisor</b> : スーパーバイザ統計情報を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>transmit</b> { <b>port-fifo</b>   <b>queue</b>   <b>supervisor-sram</b> } [ <b>asic number</b>   <b>port number</b> [ <b>asic number</b> ]]	<p>送信情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>port-fifo</b> : ポート FIFO 情報レジスタの内容を表示します。</li> <li>• <b>queue</b> : キュー情報レジスタの内容を表示します。</li> <li>• <b>supervisor-sram</b> : スーパーバイザ SRAM 情報を表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>

<b>vct</b> [ <i>asic number</i>   <i>port number</i> [ <i>asic number</i> ]]	指定された ASIC または指定されたポートおよび ASIC の VLAN 圧縮テーブル エントリを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) 指定された ASIC の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 1 です。</li> <li>• <b>port number</b> : (任意) 指定されたポートおよび ASIC 番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 27 です。0 はスーパーバイザで、1 ~ 25 はポートを示します。</li> </ul>
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。



(注)

**stack** {*control* | *dest-map* | *learning* | *messages* | *mvid* | *prog-parser* | *span* | *stats* [*asic number* | *port number* [*asic number*]] キーワードは、コマンドラインのヘルプ ストリングには表示されますが、サポートされていません。

#### コマンドモード

特権 EXEC

#### コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

#### 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform port-security

プラットフォームに依存するポートセキュリティ情報を表示するには、**show platform port-security** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform port-security [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform qos

プラットフォームに依存する Quality of Service (QoS) 情報を表示するには、**show platform qos** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform qos debug [aggregate-policer aggregate-policer-name | global-config |
input-queue | [interface [interface-id] [buffers | policers | queuing]] | label-table
[dynamic-label {dscp value cos value | label-number value | policy-map
policy-map-name class-map class-map-name} [asic number] | policer
{parameter-table | qos-table| selection-table} [asic number] | policy-map
policy-map-name [asic number] | port-class [asic number] | port-config port-number
[asic number] | port-info port-number [asic number] | table-map | vlan vlan-id] [ |
{begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform qos statistics [interface [interface-id]] [ | {begin | exclude | include}
expression]
```

## 構文の説明

<b>debug</b>	スイッチまたは特定のキーワードの QoS デバッグ メッセージを表示します。
<b>aggregate-policer</b> <i>aggregate-policer-name</i>	(任意) 指定された集約ポリサーの QoS 集約ポリサー情報を表示します。
<b>global-config</b>	(任意) QoS のグローバル設定情報を表示します。
<b>input-queue</b>	(任意) QoS の入力キューの情報を表示します。
<b>interface</b> [ <i>interface-id</i> ] [ <b>buffers</b>   <b>policers</b>   <b>queuing</b> ]	(任意) すべてのインターフェイスまたは指定されたインターフェイスに対する QoS 情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>buffers</b> : (任意) QoS バッファに関する情報を表示します。</li> <li><b>policers</b> : (任意) QoS ポリサーに関する情報を表示します。</li> <li><b>queuing</b> : (任意) QoS の出力キューに関する情報を表示します。</li> </ul>
<b>label-table</b> [ <b>dynamic-label</b> { <i>dscp value cos value</i>   <b>label-number</b> <i>value</i>   <b>policy-map</b> <i>policy-map-name class-map class-map-name</i> } [ <b>asic number</b> ]	(任意) QoS ラベル テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>dynamic-label</b> : (任意) ダイナミック ラベル情報を表示します。</li> <li><b>dscp value cos value</b> : DiffServ コード ポイント (DSCP) 値 (0 ~ 63)、およびサービス クラス (CoS) 値 (0 ~ 7) に基づいて情報を表示します。</li> <li><b>label-number value</b> : ダイナミック ラベル番号に基づいて情報を表示します。指定できる範囲は 158 ~ 255 です。</li> <li><b>policy-map policy-map-name class-map class-map-name</b> : 指定されたポリシー マップとクラス マップの情報を表示します。</li> <li><b>asic number</b> : (任意) ポートの ASIC 番号に基づいて情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> </ul>

<b>policer</b> { <b>parameter-table</b>   <b>qos-table</b>   <b>selection-table</b> } [ <b>asic number</b> ]	(任意) QoS ポリサー情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>parameter-table</b> : ポリサー パラメータ テーブルを表示します。</li> <li>• <b>qos-table</b> : ポリサー QoS テーブルを表示します。</li> <li>• <b>selection-table</b> : ポート割り当てテーブルを表示します。</li> <li>• <b>asic number</b> : (任意) ポートの ASIC 番号に基づいて情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> </ul>
<b>policy-map</b> <i>policy-map-name</i> [ <b>asic number</b> ]	(任意) 指定されたポリシー マップの QoS 情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) ポートの ASIC 番号に基づいて情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> </ul>
<b>port-class</b> [ <b>asic number</b> ]	(任意) QoS ポート クラス テーブルを表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) ポートの ASIC 番号に基づいて情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> </ul>
<b>port-config</b> <i>port-number</i> [ <b>asic number</b> ]	(任意) QoS ポート設定情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>port-number</i> : 指定されたポート番号の QoS 設定を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 25 です。</li> <li>• <b>asic number</b> : (任意) ポートの ASIC 番号に基づいて情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> </ul>
<b>port-info</b> <i>port-number</i> [ <b>asic number</b> ]	(任意) QoS ポート情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>port-number</i> : 指定されたポート番号の QoS 設定を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 25 です。</li> <li>• <b>asic number</b> : (任意) ポートの ASIC 番号に基づいて情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> </ul>
<b>table-map</b> <i>table-map-name</i> [ <b>asic number</b> ]	(任意) 指定されたテーブル マップの QoS 情報を表示します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : (任意) ポートの ASIC 番号に基づいて情報を表示します。この番号は、常に 0 です。</li> </ul>
<b>vlan</b> <i>vlan-id</i>	(任意) 指定された VLAN の QoS 情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
statistics	QoS インターフェイス統計情報を表示します。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

コマンドモード 特権 EXEC

## ■ show platform qos

---

**コマンド履歴**

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

---

---

**使用上のガイドライン**

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform resource-manager

プラットフォームに依存するリソース マネージャ情報を表示するには、**show platform resource-manager** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform resource-manager {dm [index number] | erd [index number] |
mad [index number] | med [index number] | mod | msm {hash-table [vlan vlan-id] |
mac-address mac-address [vlan vlan-id]} | sd [index number] | vld [index number]} [ |
{begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>dm</b> [index number]	宛先マップを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> : (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>erd</b> [index number]	指定されたインデックスの等価コスト ルート記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> : (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>mad</b> [index number]	指定されたインデックスの MAC アドレス記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> : (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>med</b> [index number]	指定されたインデックスのマルチエクステンション記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> : (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>mod</b>	リソースマネージャ モジュール情報を表示します。
<b>msm</b> {hash-table [vlan vlan-id]   mac-address mac-address [vlan vlan-id]}	MAC アドレス ステーション記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>hash-table</b> : msm ハッシュ テーブルを表示します。</li> <li><b>mac-address mac-address</b> : 指定された MAC アドレスのテーブルを表示します。</li> <li><b>vlan vlan-id</b> : (任意) 指定された VLAN のテーブルを表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。</li> </ul>
<b>sd</b> [index number]	指定されたインデックスのステーション記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> : (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>vld</b> [index number]	指定されたインデックスの VLAN リスト記述子テーブルを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li><b>index number</b> : (任意) 指定されたインデックスを表示します。指定できる範囲は 0 ~ 65535 です。</li> </ul>
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## ■ show platform resource-manager

コマンドモード 特権 EXEC

コマンド履歴	リリース	変更箇所
	12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

**使用上のガイドライン** このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。



# show platform sdfsash

Secure Digital (SD) フラッシュ メモリ カードの情報を表示するには **show platform sdfsash** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform sdfsash [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

# show platform snmp counters

プラットフォームに依存する Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) カウンタ情報を表示するには、**show platform snmp counters** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform snmp counters [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform spanning-tree synchronization

プラットフォーム依存のスパニング ツリー ステート同期情報を表示するには **show platform spanning-tree synchronization** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform spanning-tree synchronization [detail | vlan vlan-id] [| {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>detail</b>	(任意) 詳細なスパニング ツリー同期情報を表示します。
<b>vlan <i>vlan-id</i></b>	(任意) 指定された VLAN のスパニング ツリー同期情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>  begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>  exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>  include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<b><i>expression</i></b>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、**| exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform status

プラットフォーム依存のステータス情報を表示するために **show platform status** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform status [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform stp-instance

プラットフォームに依存するスパンニング ツリー インスタンス情報を表示するには、**show platform stp-instance** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform stp-instance vlan-id [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<i>vlan-id</i>	指定された VLAN のスパンニング ツリー インスタンス情報を表示します。指定できる範囲は 1 ~ 4094 です。
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform tcam

プラットフォームに依存する Ternary Content Addressable Memory (TCAM) ドライバ情報を表示するには、**show platform tcam** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform tcam {handle number | log-results | table {acl | all | equal-cost-route | local
| mac-address | multicast-expansion | qos | secondary | station | vlan-list} | usage}
[asic number [detail [invalid]] | [index number [detail [invalid]] | invalid | num
number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number [detail [invalid]] |
invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table acl [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
[detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table all [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
[detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table equal-cost-route [asic number [detail [invalid]] | [index
number [detail [invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid]
| [num number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table local [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
[detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table mac-address [asic number [detail [invalid]] | [index number
[detail [invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num
number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table qos [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
[detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table secondary [asic number [detail [invalid]] | [index number
[detail [invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num
number [detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table station [asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
[detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

```
show platform tcam table vlan-list [[asic number [detail [invalid]] | [index number [detail
[invalid]] | invalid] | num number [detail [invalid]] | invalid] | [invalid] | [num number
[detail [invalid]] | invalid]] [ | {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>handle number</b>	TCAM ハンドルを表示します。指定できる範囲は 0 ～ 4294967295 です。
<b>log-results</b>	TCAM ログ結果を表示します。

<b>table</b> {acl   all   equal-cost-route   ipv6 {acl   qos   secondary} local   mac-address   qos   secondary   station   vlan-list}	ルックアップおよび転送テーブル情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>acl</b> : Access Control List (ACL; アクセス コントロール リスト) テーブルを表示します。</li> <li>• <b>all</b> : すべての TCAM テーブルを表示します。</li> <li>• <b>equal-cost-route</b> : 等価コスト ルート テーブルを表示します。</li> <li>• <b>local</b> : ローカル テーブルを表示します。</li> <li>• <b>mac-address</b> : MAC アドレス テーブルを表示します。</li> <li>• <b>qos</b> : QoS テーブルを表示します。</li> <li>• <b>secondary</b> : セカンダリ テーブルを表示します。</li> <li>• <b>station</b> : ステーション テーブルを表示します。</li> <li>• <b>vlan-list</b> : VLAN リスト テーブルを表示します。</li> </ul>
<b>usage</b>	CAM (連想メモリ) および転送テーブル使用状況を表示します。
[[asic number [detail [invalid]]   [index number [detail [invalid]]   invalid   num number [detail [invalid]]   invalid]   [invalid]   [invalid]   [num number [detail [invalid]]   invalid]]	情報を表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>asic number</b> : 指定された ASIC のデバイス ID の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 15 です。</li> <li>• <b>detail [invalid]</b> : (任意) 有効または無効の詳細を表示します。</li> <li>• <b>index number</b> : (任意) 指定された TCAM テーブル インデックスの情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 32768 です。</li> <li>• <b>num number</b> : (任意) 指定された TCAM テーブル番号の情報を表示します。指定できる範囲は 0 ~ 32768 です。</li> </ul>
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。



(注)

**ipv6**、**multicast-expansion**、および **usage** キーワードは、コマンドラインのヘルプ ストリングには表示されていますが、サポートされていません。

## コマンド モード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート 担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート 担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

# show platform vlan

プラットフォームに依存する VLAN 情報を表示するには、**show platform vlan** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform vlan {mapping | misc | mvid | refcount | rpc {receive | transmit}} [ |
  {begin | exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<b>mapping</b>	<b>show platform vlan mapping</b> コマンドを参照してください。
<b>misc</b>	各種 VLAN モジュール情報を表示します。
<b>mvid</b>	Mapped VLAN ID (MVID) 割り当て情報を表示します。
<b>refcount</b>	VLAN ロック モジュールについてのリファレンス カウントを表示します。
<b>rpc {receive   transmit}</b>	Remote Procedure Call (RPC; リモート プロシージャ コール) メッセージを表示します。キーワードの意味は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>receive</b> : 受信した情報を表示します。</li> <li>• <b>transmit</b> : 送信した情報を表示します。</li> </ul>
<b>begin</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
<b>exclude</b>	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
<b>include</b>	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。



(注)

**prune** キーワードは、コマンドラインのヘルプ スtringには表示されますが、サポートされていません。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合にだけ使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。



# show platform vlan mapping

プラットフォームに依存する VLAN マッピング情報を表示するために **show platform vlan mapping** 特権 EXEC コマンドを使用します。

```
show platform vlan mapping [interface-id [vlan-id] | handle handle-id | usage] [| {begin
| exclude | include} expression]
```

## 構文の説明

<i>interface-id</i>	(任意) 物理インターフェイス ID またはポート チャネル番号を入力します。ポート チャネル範囲は 1 ~ 48 です。
<i>vlan-id</i>	(任意) 回線上の元の VLAN の情報、カスタマー VLAN (C-VLAN) ID を表示します。VLAN ID の範囲は 1 ~ 4094 です。
handle <i>handle-id</i>	(任意) VLAN マッピング ハンドルの詳細を表示します。ハンドル ID の範囲は 0 ~ 65535 です。
usage	(任意) VLAN マッピング ハードウェア リソースの使用状況を表示します。
begin	(任意) <i>expression</i> と一致する行から表示を開始します。
exclude	(任意) <i>expression</i> と一致する行を表示から除外します。
include	(任意) 指定された <i>expression</i> と一致する行を表示に含めます。
<i>expression</i>	参照ポイントとして使用する出力内の文字列です。

## コマンドモード

特権 EXEC

## コマンド履歴

リリース	変更箇所
12.2(53)EX	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、テクニカル サポート担当者とともに問題解決を行う場合に使用してください。テクニカル サポート担当者がこのコマンドの使用を推奨した場合以外には使用しないでください。

文字列では、大文字と小文字が区別されます。たとえば、| **exclude output** と入力した場合、*output* を含む行は表示されませんが、*Output* を含む行は表示されます。

## 例

これらは show platform vlan mapping コマンドの出力例を示します。

```
Switch# show platform vlan mapping fastethernet 0/1
Platform Vlan Mapping Information
-----
Interface Fa0/1:
1-to-1
  option:      0
  cvlan:      10
  cvlanlist: 10
  cinnervlan:  0
  spvlan:    100 (0)
  spinnervlan: 0
  ingress block: 100
  egress block: 10
  hw state: on-hold
```

## ■ show platform vlan mapping

```

ingress handle: 0, egress handle: 1
ingress block handle: 2, egress block handle: 3

```

```
Switch# show platform vlan mapping handle 1
```

```
Platform Vlan Mapping Information
```

```
-----
```

```
Handle number: 1 Type: 1-to-1
```

```
Asic: 0 Region: Match 1 vlan
```

```
First entry: 977 Number of entries: 1
```

```
Index   TCAM ENTRY           TCAM MASK           DESCRIPTOR
```

```
=====
```

```
977     7C006400 00000000     FE0FFF00 00004000     8010100A 00000000
```

```
Stat handle: 1 Packets: 0, Bytes: 0
```

```
Switch# show platform vlan mapping usage
```

```
Platform Vlan Mapping Information
```

```
-----
```

```
Port ASIC 0
```

```
Region Name      | Min | Start | End | Used | Avail | Total | Percentage
```

```
=====
```

```
Loopback          * 0    0    6    0    6    6    0%
```

```
Drop              0    6   492  0   486  486  0%
```

```
Match 2 vlans     0   492  976  0   484  484  0%
```

```
Match 1 vlan      0   976  1460 2   482  484  0%
```

```
Default operations 104 1460 1564 0   104  104  0%
```

```
Vlan blocking     0  1564 2048 2   482  484  0%
```

```
-----
```

```
* = region needs compacting
```

```
Section Total
```

```
Start | End | Used | Avail | Total | Percentage
```

```
=====
```

```
0      2048  4    2044  2048  0%
```